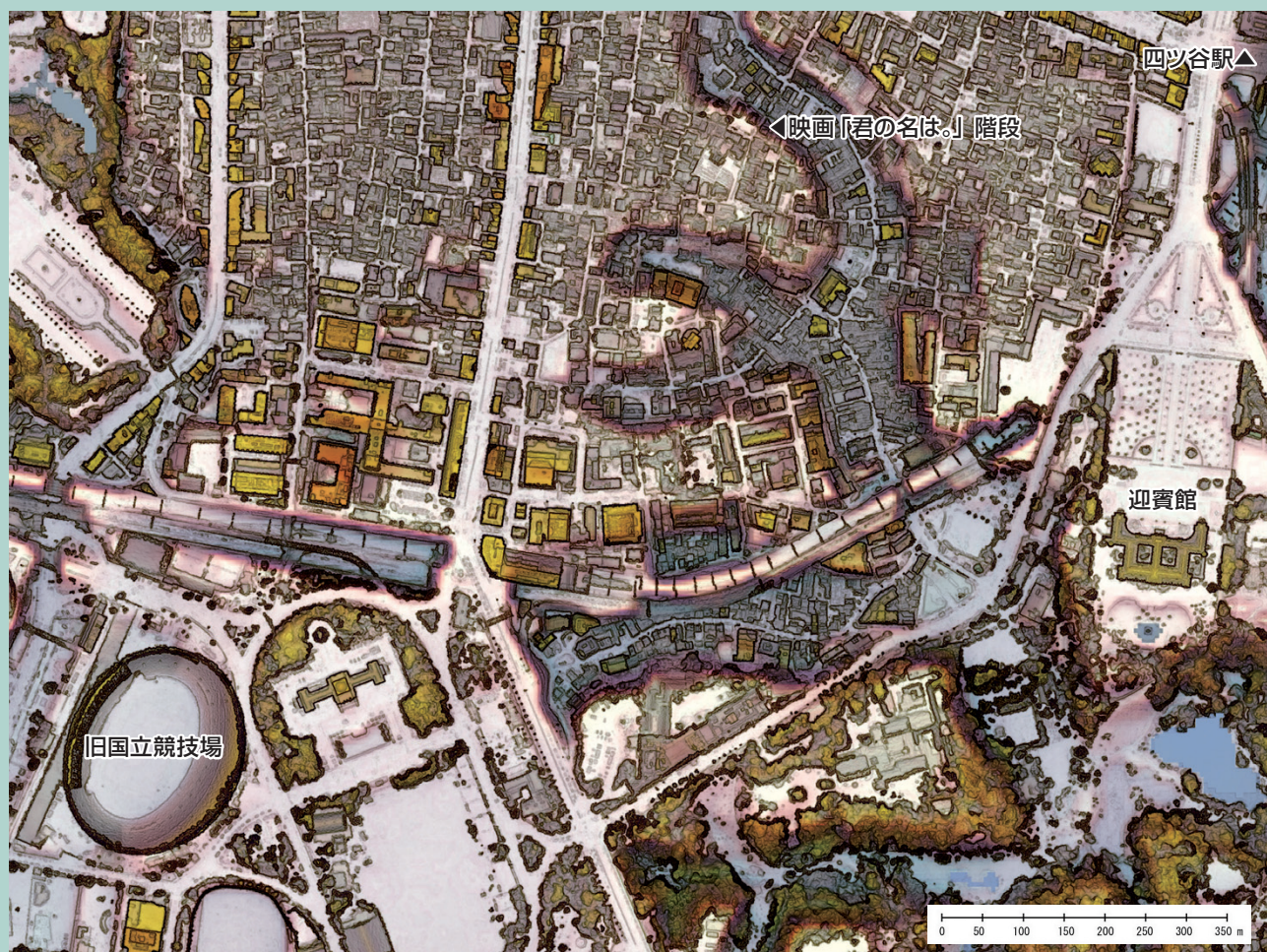


▶表紙解説



Super Cool Map / アジア航測株式会社

スーパー・クール・マップ^{*1*2}は、アジア航測株式会社が開発した、都市モデルからラスター地図を生成するための地図表現手法です。同手法には、建物などの地物の高さを視覚化する高度段彩図と、地形の凹凸を視覚化する赤色立体地図（特許第4272146号）と呼ばれる地図表現手法が用いられています。スーパー・クール・マップで表現されたビルの壁は黒細線で表され、周囲の道路は白く塗り潰されたように表されますので、手書きの地図のようにも見えます。

表紙に使用されている地図は、2015年に航空オブリーク・カメラで撮影した画像をSfM/MVS処理して得られた高解像度都市モデルを基に生成されたスーパー・クール・マップです^{*3}。この地図では、白-灰-黄-オレンジ-赤-紫-青の順に高いビルが表現されるように調整されています。そのため、建物と樹木が同じ色調になる場合がありますが、樹木の樹冠は不定形ですので両者の識別は容易です。また、道路上の車両も表現されますので、信号待ちで渋滞している様子などがわかります。

*1：PCT/JP2018/044744 特願2019-558254 基礎特願2017-236338

*2：Chiba, T. and Ohashi, M. (2020) Super cool map of San Diego & Tokyo, JAPAN, ESRI MAP BOOK, vol.35, p20-21.

*3：地形の凹凸を表現する赤色立体地図は、国土地理院の基盤地図情報5m標高が用いられています。